

2000年春から、文相表明

面接だけの 高校入試も

学力試験 義務付け外す
学内申書

'98.11.6. 毎日

有馬朗人文相は6日の会見で、学力試験か調査書（内申書）による選抜を義務付けている高校入試を、面接など他の方法だけで可能となるよう学校教育法施行規則を今月中に改正する考え

を明らかにした。2000年春の入試から可能となる。高校進学率が約97%とほぼ「義務教育化」している状況の中で、1点刻みの学力試験と日常の学校生活全体が評価の対象となる内

申書重視の高校入試が、中学教育に悪影響を与えているとの批判に応えた。判断は各都道府県教委にゆだねられることになり、今後の対応が注目される。

有馬文相は「大部分の子供が高校に入っている中で、入試のハードルを低くしたい。ただ、まったく何もやらないという意味ではない」と改正の意図を説明した。

具体的な方法としては面接や作文が考えられ、定員のどの程度を振り分けるかも都道府県教委の判断に任せられる。

学力偏重との批判から内申書重視の入試が多いが、学校生活での意欲・関心などが評価対象となるために、生徒が常に教師の目を気にしなければならない点

などで批判がある。

【岡崎 康次】